

「投信フォーラム2015 in 神戸 投資の第一歩、考えてみませんか？」

セミナー「分散投資に強い投資信託～分散効果の重要性が試される年に～」

投資にはリスクがつきもの。マイナスに転じかねないが、リスクは運用するためのエネルギーと思つてほしい。リスクの低い預貯金に驚きや感動はあるだろうか。投資の世界には驚きがある。金融商品はたくさんあるが、驚きの大きさによって違いがあると考える。

リスクやリターン、大きな商品と小さな商品の組み合わせの最適なバランスは個人で異なる。自分に最適なバランスを考えよう。マーケットは個人の事情と関係なく動くので、投資額は無理のない範囲にしよう。

投資は続けることが大事だ。続けるためには、時々起こる市場の極端な値動きへの工夫が必要。それは分散投資だ。いまだ打撃を消

少額から可能、豊富な種類…
多彩なメリット生かして



ファイナンシャルプランナー
野尻 美江子氏

のじり・みえこ 1972年東京都生まれ。1級ファイナンシャル・プランニング技能士。独立系FP事務所「ファイナンシャルリサーチ」所属。現在、ラジオ日経「マーケットトレンド」に出演中。

化しきれないリーマンショック時でも、分散は落ち込みを緩和する効果を発揮した。分散するのには、債券など、資産分散だけではない。国などの地域分散、積み立てなどの時間分散もある。過去17年の金融市場動向を調べてみると、規則性はなく、何が上昇するかは予測困難だった。偏った投資より分散が有効であることが分かる。投資信託は、集まった資金を専門家が株式

債券などに投資して運用する金融商品だ。少額から投資できること、株や債券など複数の資産に分散しやすいこと、多種多様な種類があることなど、分散の観点からも個人投資家にとってメリットが多い。一方、元本保証がない商品、不動産投資信託(RET)は株や債券とは異なる価値が期待できる。動向を見ながら分散投資の選択肢に入れてほしい。

また、指数連動型上場投資信託(EIT)はコストが安く、投資経験が豊富な人に良い商品。不動産投資信託(RET)は株や債券とは異なる価値が期待できる。動向を見ながら分散投資の選択肢に入れてほしい。

大切な資産 上手に活用

特別講演「日本経済再生の処方箋と2015年の金融市場」

今年景気がよく、株価も多少は上がると思つた。ただ、この状況が長く続くか疑問だ。景気や金融市場は政府の経済政策に影響される。昨年10月に日銀の金融緩和策が実施され、株価が上昇。政府の補正予算は今年3月ごろから動き出す。金融緩和、財政出動の二つがあれば景気はある程度よくなる。ただ、金融緩和と財政出動の効果が短期的だ。民間が自力で成長するための成長戦略が鍵だが、うまくいっていない。

経済政策には、大まかに二つある。政府が支える産業政策と、規制緩和や地方分権などの構造改革だ。現実の政策は両方の要素が入るが、どちらがメインになるかで長期的に違いが出る。子育てに例えると、何をやるに

慶應義塾大学大学院
メディアデザイン研究科教授
岸 博幸氏



岸 博幸氏 1962年東京都生まれ。一橋大学経済学部卒業後、通産省(現経済産業省)入省。通産省在籍時に米コロムビア大学ビジネススクールを卒業。経済財政政策担当大臣・金融担当大臣補佐官、経済財政政策担当大臣・郵政民営化担当大臣・総務大臣秘書官などを歴任し、2008年から現職。

分散投資でリスク軽減

が、自民党は守旧派に戻り、親戚になる。自分で頑張らざるを得ない状況だ。同様に政府が何をやるか、地方は甘える。日本では大企業ほど重要だ。財政再建に成功した国はみな同じパターンで動いている。最初に経済成長率を高くする。2番目に政府の支出を削減。3番目に増税する。日本も1番目はアベノミクスで頑張っている。3番目の増税は減らすしかない。国民はこうすればいいのかが重要だ。株式、債券などに分散してリスクを減らすことだ。分散投資の代表格である投資信託は大事なツール。統計的にみて、毎月積み立てて投資信託に資金を投入する方法が最も安全だと思つた。投資を始めるときはNISAがよいと思つた。若い人こそ始め

が、国と地方の社会保障は150兆円。このうち40兆円が赤字で、税金や国債で埋めている。これを減らすしかない。国民はこうすればいいのかが重要だ。株式、債券などに分散してリスクを減らすことだ。分散投資の代表格である投資信託は大事なツール。統計的にみて、毎月積み立てて投資信託に資金を投入する方法が最も安全だと思つた。投資を始めるときはNISAがよいと思つた。若い人こそ始め

「投資信託」とは



「投資信託」とは、投資家から集めたお金をひとつの資金としてまとめ、運用の専門家が株式や債券などに投資・運用する商品。

主催 投資信託協会、神戸新聞社、全国地方新聞社連合会

「余裕資金」で始めよう 自分に合う方法選んで

対談

細田 投資信託会社は金融商品のメーカー。投資家が求める商品を、株式や債券などを組み合わせて作り、運用している。販売するのは銀行や証券会社など。毎日相場と向き合っている。当社は欧州、米国、アジアなどにも人を配置し、いろんな情報を集めている。マーケットに影響を与える出来事があれば、すぐにレポートを書いてホームページで詳しく伝えている。今後の見通しなども書いてほしい。

野尻 マーケットで動きがあると、早いタイミングで緊急レポートが出ている。ファンドによっても見解や対処に

違いがあるので、見比べるといい。

細田 資産運用は最初の一步を踏み出すのが大変。当面使い道のない余裕資金で始めよう。投資方法は個人の事情に合わせて考えたい。例えばサラリーマンである私の場合なら、リタイアまでの期間に資産形成したいので、毎月分配型の投資信託より分配頻度の少ない10年後に増えるような商品がいい。また、生活に無理がない積み立て方式の投資もいい。

野尻 世代や家庭事情によって投資方法は変わってくる。いろいろ選べるのが投資信託のいい点。

細田 私も65歳を過ぎて毎月キャッシュが必要になれ

大和証券投資信託委託
ファンド・プロモーション部長
細田 壮一氏



対談する細田壮一氏(左)と野尻美江子氏(神戸市中央区ラッセホール)

ほそだ・そういち 1960年東京都生まれ。82年慶應義塾大学法学部卒業。大和証券入社後は個人営業、日本株トレーダー、法人営業に従事。2006年に大和投資信託に入社。クライアント・サポート部を経て、08年からファンド・プロモーション部、11年から現職。

対する税率が5年間非課税で、毎年100万円までの新規投資が対象。ただ、使い手のよくない点が残っているのは事実。今年から毎年金融機関を変更できるようになり、来年から非課税投資額が120万円に拡充される。改善は進んでいる。また、来年からは0歳から19歳までが対象の「ジュニアNISA」がスタートするので注目してほしい。

投資の第一歩、考えてみませんか？ 投資信託

時間を有効活用してリスクを小さく。
【資産の分散】【長期の保有】【時間の分散】
投資信託はあなたの資産運用のお役にたちます。

ガイドブックプレゼント 無料



ご希望の方は、投資信託協会ホームページからお申し込みください。ハガキの場合は郵便番号、住所、氏名をご記入の上、下記までご請求ください。(お届けまで2週間程度かかる場合があります。)

〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町2-1
東京証券取引所ビル6階 一般社団法人 投資信託協会KB係

※いただいた個人情報は、本ガイドの送付のほか、当協会が開催する講演会やセミナーのご案内に使用することがあります。



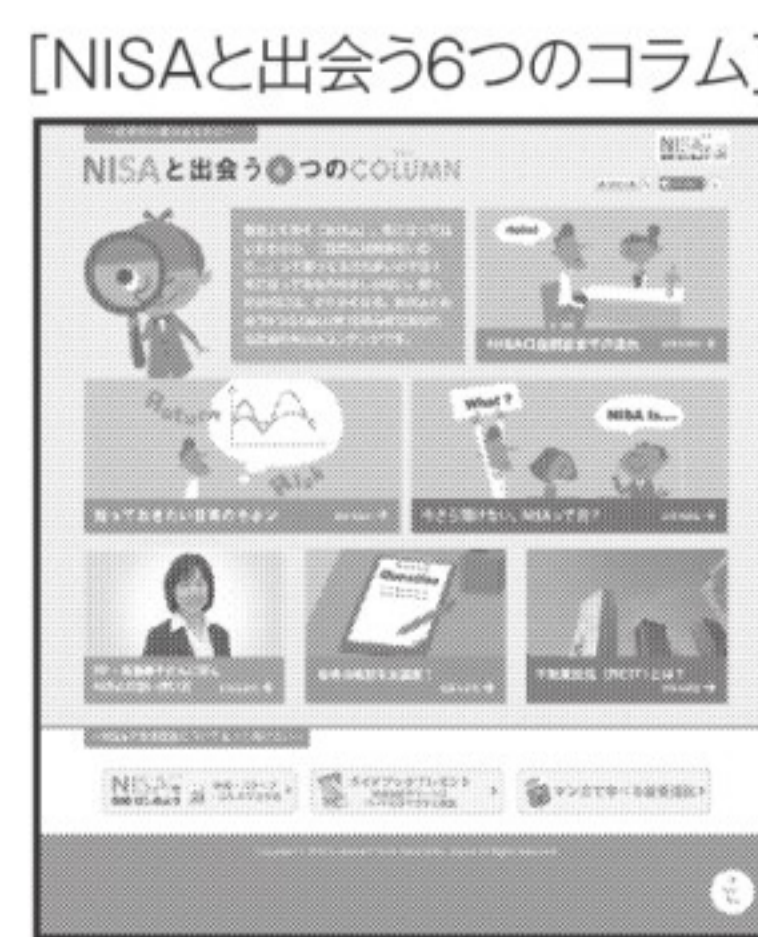
投資信託協会ホームページで

特設サイト 「NISAと出会う6つのコラム」を開設しました。

FPに聞くNISAの賢い使い方や、口座開設体験など6つのコラムを収録

新機能 投信総合検索ライブラリー

- ・交付目録見書の閲覧
- ・基準価額の検索やリターン計算
- ・取扱販売会社や販売会社別手数料の検索など



一般社団法人 投資信託協会 www.toushin.or.jp

投資信託協会 検索